

# フォーラム



# 環境と文化・京都会議 2012

## —多文化・多世代共生社会を拓く—

●午前の部 10:00~12:20

詩の朗読:「大地と空と人間と」

上村多恵子 すみくらまりこ 下田喜久美

篠笛演奏:森田玲 南部香織



小松和彦氏

## 講演 I: 「異」なるもの

### — 排除・包摂・創造 —

講師:小松和彦(国際日本文化研究センター所長)

## 講演 II: 3・11と女性

講師:下重暁子(作家、日本ペンクラブ副会長)



下重暁子氏

●午後の部(分科会と全体討論) 13:30~17:00

<分科会>

分科会1: 多文化共生と環境

分科会2: 多世代共生と環境

分科会3: 平和・環境・人権

分科会4: 世界をつなぐ環境と文化

日時: 2012年 **12月1日**(土)

開場 9時30分 開始 10時 終了 17時

会場:同志社大学 新町キャンパス 尋真館 3F

〒602-0047 京都市上京区近衛殿表町

(市バス「上京区役所」下車。北へ徒歩5分)

参加費:当日1500円 前売1000円 学生無料

定員:300人(申込順)



主催:京都生涯教育研究所 共催:同志社大学 日本ジェンダー学会

後援: 京都府 京都市 \* (社)日本ペンクラブ \* 総合地球環境学研究所 \* (社)京都ボランティア協会 \* N.G.KS 京都商工会議所 (社)京都経済同友会 (社)青年会議所 朝日新聞京都総局 産経新聞京都総局 毎日新聞京都支局 読売新聞京都総局

京都放送局 KBS京都 NPO法人気候ネットワーク NPO法人環境市民 京都新聞社会福祉事業団(以上、申請中) \* 決定

助成: 京都新聞社会福祉事業団(申請中)

## <分科会>

**分科会1. 多文化共生と環境** 座長:吉川佳英子(京都造形芸術大学准教授)

報告1:環境がつくる米と魚 報告者:佐藤洋一郎(総合地球環境学研究所副所長、教授)

報告2:自然災害と文化—東南アジアの現場から 報告者:報告者:嘉田良平(総合地球環境学研究所教授)

報告3:グローバルセッションで学んだこと学ぶこと 報告者:児嶋きよみ(異文化コーディネーター、Office Com Junto主宰)

**分科会2. 多世代共生と環境** 座長:上杉孝實(京大名誉教授)

報告1:お父さんと子どもが楽しく遊ぼう 報告者:居原田晃司(お父さんと子どもが自由に遊ぶ会代表)

報告2:よそ者が自分史で綴る京の暮らし 報告者:西本好美(NPO法人子どもサポートプロジェクト副理事長)

報告3:ボルネオとの緑化交流から 報告者:達富弘之(切り絵作家、N.GKS隊員)

**分科会3. 平和・環境・人権** 座長:岡本民夫(同志社大学名誉教授)

報告1:武士を捨てた熊谷次郎直実の発心と光明寺の自然 報告者:中西随功(京都西山短期大学学長)

報告2:西山の自然と環境教育 報告者:西村日出男(長岡京市環境の都づくり協会副代表、元帝塚山大学教授)

報告3:体制変革と女性の人権—モンゴルを中心に 報告者:後藤安子(関西大学講師、元神戸山手大学教授)

**分科会4. 世界をつなぐ環境と文化** 座長:富士谷あつ子(評論家)

報告1:チェルノブイリの子もたちは、いま 報告者:ティムール・サンドロヴィッチ(京都大学文学研究科博士課程)

報告2:「クール・ジャパン」に息づく日本の環境文化 報告者:伊藤公雄(京都大学大学院教授)

報告3:絵画がつなぐ東アジア 報告者:佐藤 宏(NPO法人アジア文化芸術連盟会長、NPO法人観○光顧問)

総合司会:香川孝三(大阪女学院大学副学長、元ベトナム公使)

## 趣旨及び目的

富士谷あつ子(京都生涯教育研究所長)

現代社会喫緊の課題は、性別・年齢・民族の違いなどを超え、あらゆる人々が対等で人間らしい暮らしを営むことのできる社会の構築にあります。高度成長期を経て、地球規模の環境破壊が問題となる一方、人間としての基本的な権利を重視する府市民たちからの声が高まっています。また京都がすぐれた古典や相次ぐノーベル賞受賞者の輩出など、創造的諸活動を支える町であることを大切にしたいという府市民は、少なくありません。

この会議は、現在、人類が直面している環境問題に対して、ものの見方、考え方、生活の仕方を含む広い意味での「文化」の視点から、人間と人間の共生、人間と自然の共生に向けて共に考えることで、これからの新しい生き方について、京都から世界に向けて発信することを目的とするものです。京都は、自然との深いかかわりから幾多のすぐれた古典文学を生み出し、近年はノーベル賞受賞者を輩出するなど、創造性をはぐくむ町であると言えるでしょう。人々の暮らしも自然との共生のなかで営まれてきました。

京都はまた、地球温暖化抑止を図る京都議定書が採択されたまちである上、東日本大震災の大規模な惨禍を克服する西日本の文化力を発揮するかなめとなることが期待されます。

京都生涯教育研究所は、1970年に大学開放と女性解放の気運の高まるなかで、女性のための生涯学習支援団体「京のおんな大学」(1975年、読売教育賞受賞)として発足し、1990年に男女両性を対象とする「京都生涯大学」となり、さらに1999年から改組・改称して現在に至っています。その間、領域を特化した法人や学会が誕生する基盤となりました。近年は、研究者と市民の連携による諸事業を展開しています。

今回、自ら文化創造にかかわり、あるいは文化的な暮らしを志向しながら活動する有志によって、フォーラム「環境と文化・京都会議2012」を開催します。多くの方々のご参加を期待申し上げます。

●参加費振込先:郵便振替 01060-6-43289 京都生涯教育研究所

●連絡先:京都生涯教育研究所 〒606-8243 京都市左京区田中東高原町28-1  
電話:075-781-9699 FAX:075-791-2219 E-mail:lifelong@wg7.so-net.ne.jp

FAX送付先:075-791-2219 (このままお送りください)

フォーラム『環境と文化・京都会議2012』に参加します。

氏名: \_\_\_\_\_ 住所: 〒 \_\_\_\_\_

お電話: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_